



陸友会から贈られた横断幕の目録を受け取る龍野高校陸上競技部顧問の河野宏充教諭(右) 姫路市三左衛門堀西の町

龍野高・陸上競技部

さらなる飛躍へ
100周年で式典
全国からOB集う

龍野高校(たつの市龍野町日山)陸上競技部の創部100周年を祝う式典が17日、姫路市三左衛門堀西の町の姫路キャッスルグランヴィリオホテルであった。全国各地からOBら計105人が駆け付け、同部の輝かしい足跡を振り返りながら、後輩たちにさらなる飛躍を期待した。

同部は1917(大正6)

年、旧制龍野中学校陸上競技部として創部。全国中学校選手権大会で3年連続総合優勝を飾るなど全国にその名を知らしめた。48年に龍野高校となって以降も、インターハイなどに多くの優秀な選手を送り出した。これまでに所属した部員は約900人になる。

式典では、OBでつくる陸友会の八木利正会長が「(同部は)歴史と伝統を脈々と受け継いできた。陸上を楽しむ後輩たちが次の100年を刻んでくれることを期待したい」とあいさつ。同部に「賞実剛健」と書かれた横断幕を贈った。

OBによるスピーチなどもあり、会場を盛り上げた。

(河尻 悟)